

新除草・調節剤

いると除草効果が劣るので、いったんかん水して湿らせてから散布する。薬剤は直射日光のあたらないところに保管する。

改良トマフィックス

(取扱メーカー)日本特殊農薬製造株式会社
対象作物：トマト

性状・作用特性：トマトの着果生長促進剤として従来利用されているトマフィックスの成分を一部改良したもので、ビニールハウスや温室での促成または半促成トマトの落果防止および熟期促進に使用する。

有効成分のβ-ナフトキシ酢酸ナトリウム0.5%および有機合成化合物—5456の0.025%を含有する液剤で、雌しべ内への刺激作用により単為結果を誘起せしめる。

使用方法：本薬剤の100倍液を香水吹きまたは小型噴霧器で各花房の1～2花が開花したときに第1回、その後5～7日して第2回の散布を行なう。噴霧の代りにコップのような小型容器に溶液を入れ、花房を浸漬してその後余分の液を軽く払いおとしてもよい。

使用上の注意としては植物体全体にかけると頂部の若い葉や莖に薬害を発生するので散布は花房処理にとどめる。薬剤の保存は冷暗所に置く。

グラモキソン パラコート液剤

I C I 社
(取扱メーカー)日本農薬株式会社
武田薬品工業株式会社

対象作物：カンラン・ナス・スイカ

性状・作用特性：「植調」第1巻・第1号、16ページ参照。

使用方法：各作物ともその生育中にうね間の雑草に対し莖葉処理する。使用量は10アール当たり300ccの薬剤を水100～150ℓにうすめ、非イオン系展着剤を加えて雑草の莖葉に充分かかるように散布する。

使用上の注意としては作物にかかれば薬害が激しく出るので、噴霧口にカバーをとりつけるかスイカではキャップあるいはトンネル被覆期間に作物にかからないように散布する。風の強いときや雑草がぬれているときの散布はさける。散布液を調整した容器や散布器具は使用后充分水洗する。劇物指定。

ダクロン C M M P 乳剤

(取扱メーカー)中外製薬株式会社

対象作物：ニンジン

性状・作用特性、使用方法：「植調」第1巻・第3号、29ページ参照。